

資産運用会社の合併について

合併効果について

2022年6月1日付にて、ADインベストメント・マネジメント(株)と旧伊藤忠リート・マネジメント(株)が合併し、複数ファンドを運用する新生「伊藤忠リート・マネジメント(株)」誕生。合併以降、着実に合併効果を実現しつつ、今後更なる投資主価値の向上を図っていく。

合併の狙い	具体的な合併効果
物件情報入手機会・取得機会の拡大	<ol style="list-style-type: none">1. <u>物件情報収集力の強化</u><ul style="list-style-type: none">・2社の既存のネットワークの共有・相互利用、総合型ファンド（私募REIT）の運用開始による入手物件情報の裾野拡大・運用会社としてのプレゼンスの向上
運用ノウハウの共有・高度化、運用態勢の合理化	<ol style="list-style-type: none">2. <u>バックオフィス機能の統合による運用態勢の強化</u><ul style="list-style-type: none">・取引先の統合による情報共有、集約化による業務効率化・IRイベントなどの合同開催による集客効果、コスト削減3. <u>エンジニアリング事業本部機能の横展開（一級建築士事務所登録）</u><ul style="list-style-type: none">・取引先の統合による技術的サポートの拡充・効果的な修繕計画立案及び工事の品質・コストマネジメントの実行・水光熱費をはじめとした建物管理コストの効率化（電力削減施策の立案等）4. <u>ESG専門部署設置による取り組み強化</u><ul style="list-style-type: none">・中長期的な事業継続性に立脚した、マテリアリティ、KPI、長期数値目標を設定・脱炭素に向けた取り組み、外部認証対応、気候変動リスクへの対応等を強化
人材の育成・採用力の強化、内部統制の強化	<ol style="list-style-type: none">5. <u>人材の育成／意識向上</u><ul style="list-style-type: none">・法務／リスク管理、内部監査をはじめとした各部門における専門人材の活用・長年の運用経験に基づく複数アセットに関する知見／専門性の相互活用と承継・複数ファンド運用による就業機会の多様性等、従業員モチベーションの向上・企業文化および投資主本位の意識強化に向けた取り組みの一本化